



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2018年12月24日 第900号「週刊五十嵐レポート」

小さな会社の経営のコツとは

お陰様で今週で900号。中小企業の経営者にお役立ち情報を提供して18年。小さな会社が経営を良好に継続していくには、原理・原則があることが見てきた。原理とは、物事や現象を成り立たせる根本の法則。原則とは、多くの場合に共通に適用される基本的なきまり・法則。法則とは、いつでも、またどこでも一定の条件のもとに成立するところの普遍的・必然的關係。

経営を単純化している会社は、比較的業績が良い。経営を複雑化している会社は苦戦している。単純とは、簡素なさま、簡単、複雑ではない。複雑とは、物事の事情や関係がこみいっていること。

ライザップは、今期赤字に転落。本業以外の非関連多角化をしたことにより、力が分散。傘下企業の統治が不能になった。

大塚家具は3期連続赤字。強みの高級路線から競争の激しい大衆路線に転換。強みが弱まり、強者やられてしまった。

とんこつラーメン店「一風堂(力の源カンパニー)」と「一蘭」との違い。
(一風堂)18年3月期売上14,520百万円、純利益269百万円、正社員603人
(一蘭)17年12月期売上18,024百万円、純利益1,623百万円、正社員286人
＜「帝国データバンク企業情報」より＞

売上高純利益率、一風堂は1.8%、一蘭は9.0%。一蘭は一風堂より5倍利益性が高い。その根拠は、一蘭はラーメンだけの単一業態。一風堂は、ラーメン、うどん、居酒屋等多業態。多業態より単一業態の方が利益性が高い。一蘭だけではなく、鳥貴族、串カツ田中、HUBも単一業態で利益性は高い。

事業領域は狭く、深く掘る。あれもこれもと他の事に手を出さない。経営はやらないことを決める。捨てることを決める。複雑にしない。まずは一点集中。特徴あるモノを強くする。単純化。そして同業の大手のマネをしない。経営を学ばないと良い事と思って大手のマネをする。そこに落とし穴がある。

余計なものを捨て、シンプルに生きる。単純・簡単が業績良好のコツ。

ちょっと
気になる出来事

「戦略社長塾東京」小岩校を2008年7月からはじめて10年と6ヶ月が過ぎようとしている。すでに1,000回を突破。今年は、日曜が51回(51講座)、水曜が48回(48講座)、土曜が24回(48講座)、計123回(147講座)を開催。延べ時間約300時間。

ユーチューブに戦略社長塾における意見交換の動画をアップした数は302本。記録としてストック。

会社を経営するにあたり、直面する課題や問題を発表。異業種の視点から問題解決へのヒントが出てくる。それがどんどん積みあがってくる。

多くの中小企業の経営者は経営を学ぶことが少ない。セミナーに行くことぐらい。経営の体系を継続的に学ぶことがない。やはり、無知ほど怖いことはない。知識を得て、体験するとそこに知恵が生まれる。その繰り返し。

学んで思わざれば、即ちくらし、思うて学ばざれば、即ちあやうし。来年もこれで行く。



一口メモ
知識

ブッタは救済者ではなく「人間の師」

大乘仏教には大日如来、阿弥陀如来、お地蔵さま、観音さまなど無数の如来・菩薩がいます。

彼らは、超人的な力をもって人々を救うと約束する「救済者」です。我々はそれらの仏さまをひたすら信仰して、すぎる以外ありません。

しかし、本来のブッタ(お釈迦さま)は拝む対象というより模範とすべき人格完成者です。人間として生まれ、修行によって人格を完成し、悟りに達してから45年間、人々に正しい生き方を説き示したのです。

ブッタは人間の師です。我々はブッタから学び、智慧の感性を目指すのです。

「ブッタの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL 03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com



新経営の
志手帳